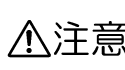
取扱説明書

DAYTONA corp.

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ホットグリップ・スタンダード グリップエンド貫通タイプ	適応車種	商品NO.
	汎用	76992

■ご使用前に必ずご確認ください■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
高温注意	表記の注意を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
水ぬれ禁止	表記の注意を告げるものです。		

⚠注意

禁止

- この商品は 12V 専用です。バッテリーレス車、及び 6V 車への取り付けはできません。
- スズキ原付スクーターにグリップの内径が細い車両があります。(アドレス110/V100 等約 19mm)このような車両には取り付けできません。取り付け作業前にハンドル外径・スリーブ径を計測・確認してください。
- ヤマハ初期マジェスティ(4HC)には適合しません。車両の発電能力不足の為使用出来ません。その他の発電能力不足の車両も同様に使用できません。
- 作業を行う場合は、濡れた手での作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合感電する可能性があり、たいへん危険です。

実施

- グリップ取り付けの際は、配線ミスによるショート防止のため、作業に入る前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してショートしないようウエスなどで絶縁した上で作業してください。
- 頻繁にストップ&ゴーの繰り返しで短距離走行ではバッテリーへの充電が不十分です。電装部品の追加となり消費電力も多くなりますので、そのようなご使用状況の際は走行後充電するなどのバッテリーのメンテナンスを行ってください。
- EFI(インジェクション)車や、イモビライザー装着車、テールランプなどに LED ランプを使用している車両は電源の配線にご注意ください。

実施

- EFI 車では、コンピューターで電力の制御をしている車両がありホットグリップに限らず電力供給に関して過電流があると電力カットするものがあります。電力制限のない配線を確認して配線してください。また、テールランプに LED を使用している車両や、イモビライザーなどの盗難防止機能付の車両などへの配線については特に注意してください。
- LED ランプなどは消費電力を抑えており配線の線径が細いものがあります。配線の異常過熱の原因となりまので絶対に配線しないでください。
- イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。
- ホットグリップ装着前に車両の特徴を把握してください。必要に応じて車両メーカーなどに問い合わせ・確認してください。
- 必ずホットグリップ装着前に、上記項目に関する車両の特徴をご確認ください。また、必要に応じて車両メーカー等への問い合わせをお願いします。
- 定期的にグリップの接着状態の点検を行ってください。ホットグリップの熱影響、接着剤の経年変化、脱脂不充分、汚れ落とし不充分等により、接着が不充分になりグリップが抜ける場合があります。グリップ抜け防止のため、必ずステンレスワイヤーのワイヤリングを行ってください。
- **走行中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止して車両を安全な場所に停車させて異常箇所を必ず点検し、購入先や弊社にご連絡ください。**

水ぬれ禁止

- スイッチ本体は防水設計されていません。
  6 ページのスイッチ装着図を厳守してください。

その他

- 純正スロットルスリーブに車両によってはスベリ留めのリブが立っているものがあります。スロットルスリーブ外径が約 25mm になるように削り落とすなどの作業をしてホットグリップを取り付けしてください。無理にグリップをねじ込んだりプラスチックハンマー等で叩いたりしてしまうとグリップ内部の配線を痛めてしまいます。
- ホットグリップのスイッチ操作はエンジン始動後に行ってください。エンジン停止時にホットグリップを使用しますとバッテリーの消耗が早まってしまいます(メインキーON の状態で電力が供給されます)。使用時にはグリップが暖まるまで少々時間が掛かりますので２～３分ほど暖気運転を行ってください。　注)長時間の暖気運転は逆にバッテリーを痛めますのでご注意してください。
- 長期使用等で性能が著しく低下したバッテリーの場合、商品を取り付けることによってバッテリー上がりを起こしたり、商品が正常に動作しない場合があります。
- ジェネレーター容量の小さい車両に商品を取り付けた場合、充電能力不足でバッテリートラブルを引き起こすことがあります。

高温注意

- 長時間の使用により低温やけどの恐れがあります。無意識のうちにやけどをする可能性があります。目安として３０分に１回程度電源スイッチをＯＦＦにするなどしてご使用ください。なお、グローブ着用時でも低温やけどの恐れがあります。ご注意ください。

本商品の特徴

- バーエンドが装着可能なグリップエンド貫通タイプのホットグリップです。
- 簡単操作のＯＮ／ＯＦＦスイッチで操作トラブルを防止。

不適合確認車両

- SUZUKI 製 原付一種／原付二種等のハンドルが細い（Φ19）車両
- ハーレーなどの１インチ（Φ25.4）ハンドル車
- マジェスティ初期型（４HC）（発電能力不足のためバッテリー充電が追いつかない）
- 純正グリップ長が極端に短い車両（115mm以下）

商品諸元

- 作動電圧:DC12V
- 消費電流:約 1.7A(抵抗値　片側単品の数値 2.7Ω±10%)
- グリップ全長:125mm (左右とも)
- グリップ内径:右側　内径約 25.4mm　外径約 33mm
左側　内径約 22mm　外径約 33mm

商品内容

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	グリップヒーター左	内径 22mm	1	⑤	結線コネクター		2
②	グリップヒーター右	内径 25.4mm	1	⑥	両面テープ	30x20x1.0	1
③	スイッチ		1	⑦	結束バンド	150mm	5
④	アースハーネス	600mm	1	⑧	ステンレスワイヤー	280mm	2

取付方法

作業手順

1. 車体バッテリーのマイナス端子を取外し、ウエスや絶縁テープなどで絶縁しておきます。
2. 左右の純正グリップを取り外します。
   ゴム系接着剤などで接着されていますので、マイナスドライバーなどをグリップとハンドルとの隙間に入れ、パーツクリーナーなどを隙間に塗布して取り外してください。
3. ハンドルやスロットルスリーブなどに残った接着剤をきれいに除去してください。またスロットルスリーブの外径にすべり止めのリブがある場合は約外径 25mm ほどになるように削る加工をしてください。
4. ホットグリップの作動(暖まるか)確認をします。テスターをお持ちでしたら、導通の確認と、抵抗値の確認をしてください。正しい抵抗値は 2.7Ω±10%（片側）です。左右のグリップ・スイッチを接続しない状態で、グリップ単品の抵抗値を計測します。

   テスター等をお持ちでない場合は実際にホットグリップを暖めて確認します。12V のバッテリーのプラス・マイナスにホットグリップから出ている２本の端子をつなげて暖めます。左右のグリップはつなげないで単品でテストしてください。約１分ほどでテストは終了してください。暖まりを感じる程度でテストは終了です。それ以上の接続はバッテリーを消耗しますので控えてください。作業には十分ご注意ください。濡れた手や、近くに火気が無いことを確認して作業してください。

   テスターや、実際の暖めテストで異常がある場合は購入先や弊社にご連絡ください。商品を詳しく検査いたします。

抵抗値 2.7Ω±10%です。2.5 から 2.9Ωが許容範囲内です。

5. 左右のホットグリップの内側を脱脂します。ワックスオフなどの脱脂剤できれいにしてください。また、ハンドルやスロットルスリーブも脱脂してください。脱脂や汚れ落としが不充分ですと、グリップが外れる原因となり、大変危険です。

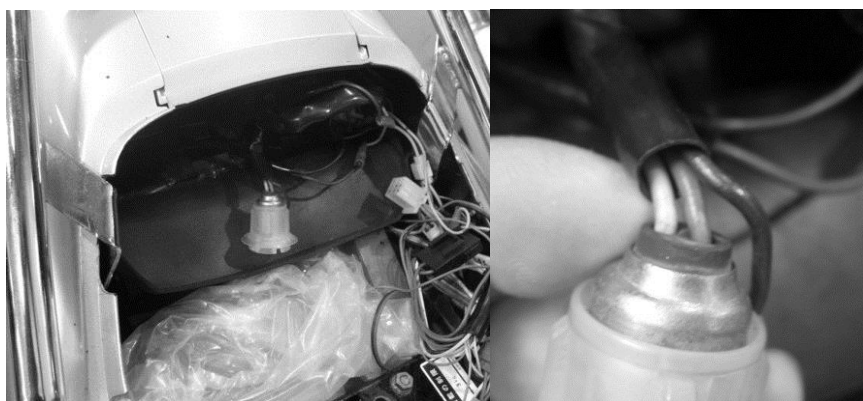
6. 電源の配線を確認します。

下記の事例は参考です。車両や仕様により電源は異なります。テスターなどで電圧の確認や、配線図・などで確認して安全・確実に配線してください。

●プラス側の電源　参考例(1)ﾌﾛﾝﾄﾌﾞﾚｰｷﾏｽﾀｰ　(2) ﾃｰﾙﾗﾝﾌﾟ　(3)車体ｱｸｾｻﾘｰ

(1) フロントブレーキマスターのストップランプセンサーを利用する。

(テスターを使用し、メインキーON の時だけ 12V 以上の電圧が出力されている配線を使用する。2 極の端子のうち片側は 12V が出力されていませんのでご注意ください。)接続には付属の結線コネクターなどを利用してください。

⑵テールランプの常時点灯(スモールランプ)の配線を利用する。

(テスターを使用し、メインキーON の時だけ 12V 以上の電圧が出力されている配線を利用する。ブレーキランプの線に接続をするとブレーキ作動時のみしか電気が流れませんのでご注意ください。接続には付属の結線コネクターを利用してください。

⑶ 車体アクセサリー電源を利用する。メインキーON の時だけ電源が入る線を利用する。(12V)

※以下の接続は絶対にお止めください。(プラス・マイナス電源共禁止です。)

1 ヘッドライト・ウインカー・ホーン・メーター照明への接続。

2 細い配線(被覆径で 2mm 以下の線)には不可。特に LED テールランプ装着車は注意。

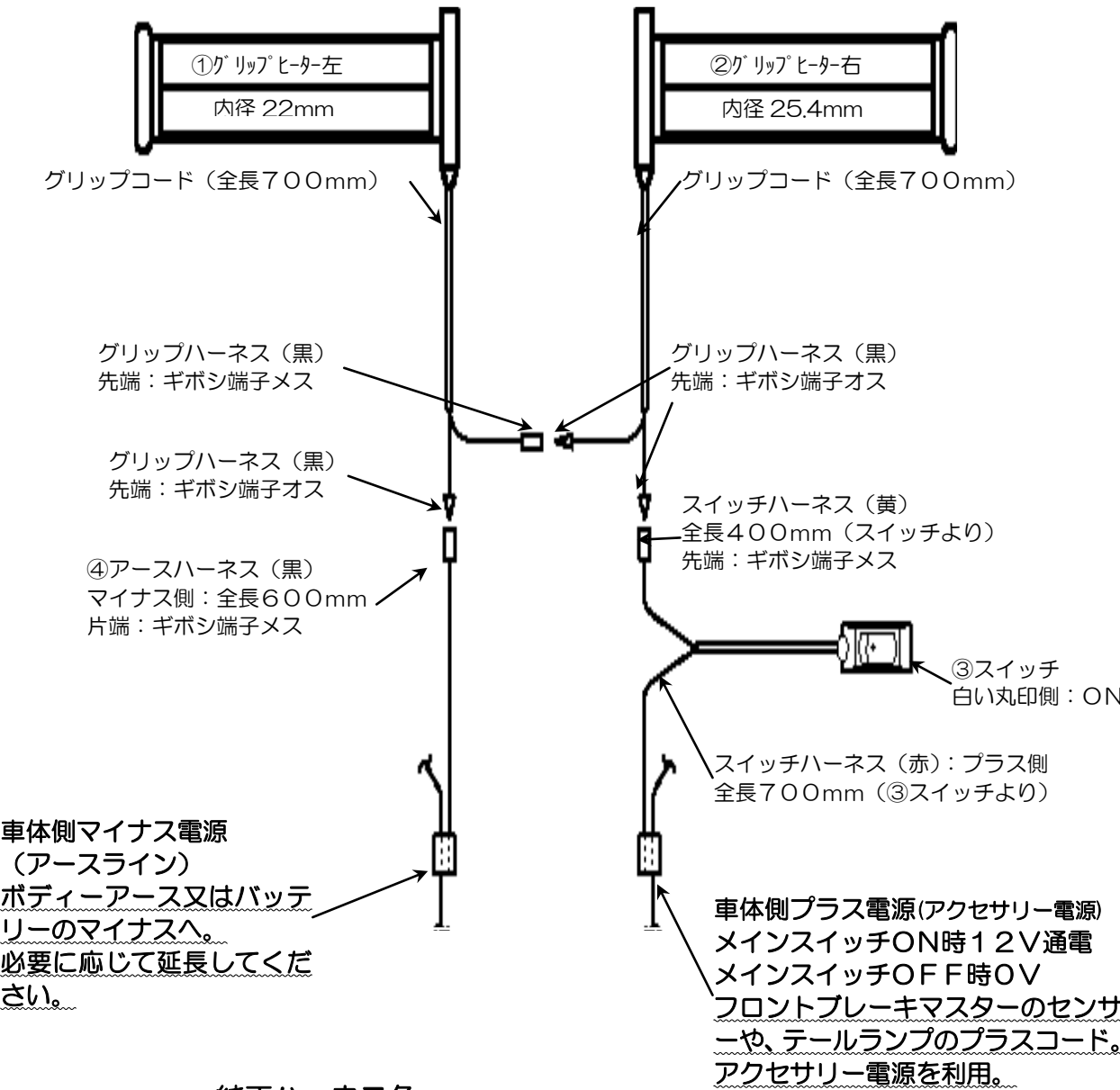
3 バッテリーへの直接接続。(マイナスのアース配線は可能)

4 コンピューターユニット・イモビライザー等への配線。

●マイスナ側の電源 参考例(1) ﾎﾞﾃﾞｨｰｱｰｽ (2)ﾊﾞｯﾃﾘｰのﾏｲﾅｽ端子

(1) ボディーアースを利用する。フレーム等に塗装がされている場合は塗装を削り確実にアースしてください。

(2) 塗装の削りが困難な場合はアース線を延長して直接バッテリーのマイナスに接続してください。

ホットグリップ配線図

純正ハーネス色

メーカー名	プラス側(赤)	マイナス側(黒)
ホンダ	赤/黒　または黒	緑
ヤマハ	茶　または茶/青	黒
スズキ	オレンジ	黒/白
カワサキ	茶	黒/黄

純正ハーネス色については参考資料となります。
車種によっては色が異なる場合があります。必ずオーナーズマニュアルやテスターでご確認ください。

7. 左右のグリップの取付け。

脱脂をしたグリップの内側に接着剤を塗ります。塗りすぎに注意。また、グリップの取付くハンドル側・スロットルスリーブ側にも接着剤を塗ります。

接着剤は熱の影響を受けないものを使用してください。デイトナ推奨接着剤(ホットグリップ専用接着剤)をお勧めいたします。ご使用方法については接着剤の取り扱い説明書にしたがってお取り扱いください。

ホットグリップ専用接着剤　　　　品番：６５８６２ / ￥900（税抜）

グリップを曲げないように丁寧に差し込みをしてください。はみ出した接着剤はウエス等でふき取ってください。

アクセル側グリップから出ている配線のとりまわしは数回アクセルをまわし、配線が突っ張らないように余裕をもたせてください。

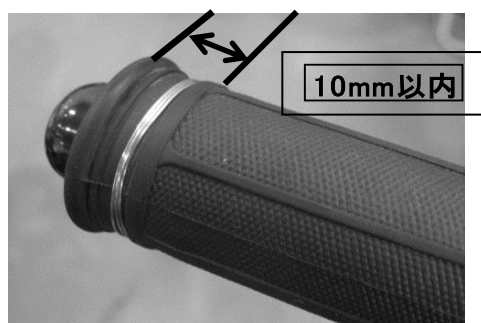
※ 定期的にグリップの接着状態の点検を行ってください。ホットグリップの熱や、接着剤の経年変化、脱脂不充分、汚れ落とし不充分等により、短時間でグリップが抜ける場合があります。

8. ①グリップヒーター左、②グリップヒーター右、③スイッチ、④アースハーネスは、各キボシ端子を配線図通りに接続してください。車体マイナス電源コード、プラス電源コードは⑤結線コネクター等を使用して接続してください。⑦結束バンドで各配線コードをまとめます。③スイッチは水抜き穴が下になるように取り付けてください。

スイッチの装着図

③スイッチは防水ではありません。走行中、雨水等がかかりにくいところ(カウリング内側、トップブリッジ下側等)に装着してください。また、スイッチの水抜きのため水抜き穴が下（ON 側を下）になるように取り付けてください。

9. 左右共グリップエンドから 10mm 以内に⑧ステンレスワイヤーでワイヤリングをしてください。ワイヤーを 2 周グリップエンドに巻きつけラジオペンチなどで締め付けます。　ワイヤーツイスターを使用する際はステンレスワイヤーの端で手を切ることのないように処理してください。

グリップエンドから 10mm 以上には発熱線があります。ワイヤリングが発熱線にかからないようにしてください。

※ ワイヤリングは必ず行ってください。ワイヤリングを怠りますと、グリップが抜ける場合があり、大変危険です。
※ ステンレスワイヤーの締め過ぎにご注意ください。発熱線を傷める場合があります。
※ グリップエンド端面より１０mm以上のところには発熱線があります。この部分にはワイヤリングはできませんので、充分ご注意ください。

補修部品

商品名	品番	本体価格（税抜）
補修グリップ右側　貫通	63194	¥2,400
補修グリップ左側　貫通	63195	¥2,000
ON/OFF スイッチ	63196	¥1,100

トラブルシューテング Q&A

Q グリップがあたたまらない。

A

① 各配線のキボシ・結線コネクターはしっかり接続されているか確認してください。

② ON/OFF スイッチから出ている黒色線(アース線)がしっかり接続されているか確認してください。
特にボディーアースの場合は塗装が剥がれたところにしっかりアースがされているか確認してください。
アース不良では暖まり方が弱まります。

③ バッテリーは弱っていないか。テスターなどで 12V 以上電圧が発生しているか確認をする。12V 以下となると発熱が弱まります。バッテリーを充電するか新品に交換してください。

④ テスターを利用してホットグリップ単品の抵抗値を計測します。グリップから出ている２本線のキボシをテスターにつなげて抵抗値を確認してください。
抵抗値が異常な場合はグリップの発熱線が断線している可能性があります。
購入先や弊社にご連絡ください。くわしく検査をいたします。
グリップの取り付け時にグリップがねじれ発熱線が断線する恐れがあります。グリップ取り付け前に抵抗値を計測して不具合の無い事を確認して取り付け作業をしてください。
取り付け時発生の不具合については保障対象外となります。ご注意ください。

Q 左側のグリップ温度が低く感じる。

A

① グリップの構造とハンドルの素材などの関係で左側はハンドルに直接グリップが取り付く為ハンドルに熱が逃げてしまう事があります。また、グリップのゴムの厚みも左側は厚いためアクセル側(右側)と比較をすると温度の差が出てしまう場合があります。ご了承ください。
汎用品の為車両によっては温度・暖まり具合が異なる場合があります。

Q グリップが長い。短くカットできますか。

A

① 左右のグリップ共グリップエンドから 10mm まではグリップをカットすることができます。10mm 以上はカットする事ができません。
また、グリップのねじれ防止の為にも付属のステンレスワイヤーを使用してワイヤリングをしてください。
グリップエンドをカットしたグリップにはワイヤリングはできません。

〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで